

第3次中期計画

2018年度(平成30年度)～2022年度



スローガン

地域への貢献と
活力ある地域社会づくり

公益社団法人 府中市シルバー人材センター

目 次

第3次中期計画策定にあたって 1

I 計画策定の趣旨 2

II 計画書の名称 3

III 計画期間 3

IV スローガン 3

V 計画基本目標 4

- 1 会員
 - 2 事業
 - 3 組織
 - 4 安全就業
 - 5 適正就業
- 組織図

VI 参考資料集 11

- 1 府中市の人口の推移
- 2 会員数の推移
- 3 事業実績の推移
- 4 第3次長・中期計画検討会委員名簿、開催状況

第3次中期計画策定にあたって

公益社団法人府中市シルバー材センターは昭和52年7月に設立され、平成29年7月に設立40周年を迎えることができました。

設立以来「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、地域に根差した団体として、市民の皆様及び関係企業、団体のご理解とご協力、会員の皆様のご尽力により、平成28年度には、会員数1,732名、事業実績金額は、7億9,500万円に達しました。

本格的な高齢社会の到来を迎え、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の健全な発展に貢献するセンターの果たす役目は極めて重要であります。

また、就業を希望する高齢者や就業の受け入れを希望する発注者の受け皿として、地域社会の担い手としての役割はますます高まると予想されます。

これらの期待に応えていくため、運営基盤の強化、安定、事業の拡充を図る必要性が高まっています。

平成29年度、第二次長・中期見直し計画が終了することから、平成30年度を初年度とする新しい計画を策定し、将来のセンターのあるべき姿を展望した基本計画を定め、一層の発展を図り、地域に根差したセンターになるように取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご審議にご尽力をいただいた第3次長・中期検討会の委員の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成30年3月吉日

公益社団法人 府中市シルバー人材センター

会 長 渋 谷 彰

第3次中期計画

I 計画策定の趣旨

我が国の少子高齢化の進行に伴い、労働力人口が減少している中、働く意欲のある高齢者が活躍できる「活力ある地域社会」を実現することが重要となっています。

定年退職等で現役を離れた高齢者が、これまで培ってきた経験や技能などを活かして「福祉の担い手から社会の担い手」となるように就業やボランティア活動することによって、高齢者自身の生きがいの充実、地域福祉の向上、地域経済の活性化などに寄与しているところです。

このような情勢の中、社会環境の変化に対応するため、事業運営や財政基盤強化など、平成15年度を起点とした中期計画、長期計画、長期以後5年計画を策定してまいりましたが、この計画が平成30年3月末で終了するにあたり、今後の基本方針を示す中期計画を策定しました。

この中期計画により、地域のニーズに沿った市民から必要とされる公益法人として事業展開してまいります。



II

計画書の名称

公益社団法人府中市シルバー人材センター
「第3次中期計画」

III

計画期間

2018年度(平成30年度)～2022年度の5年間

急激な社会変化に対応するため、従来の長期的な計画ではなく、5年間の計画としました。
なお、この計画は社会情勢等大きく変動した場合には、適宜見直すこととします。

IV

スローガン

地域への貢献と
活力ある地域社会づくり

スローガンは、キャッチフレーズ的で内外にアピールでき、やさしく・親しみやすく、センターの方向性がわかるものを策定することを念頭におき、全会員の投票で選定しました。



V 計画基本目標

1 会 員

会員数目標
(2022年度)

2,000名

就業率目標
(2022年度)

90%

(1) 現状と課題

会員数は平成22年度の1,916名をピークに1,700名まで落ち込みましたが、平成28年度には、1,732名とやや増加しました。

また、女性会員の加入率は全会員の29%程度とピーク時からの変動はありません。

会員数は、シルバー人材センターの根幹であり、多様な人材を確保し、会員の増強を図ることが重要です。

(2) 実行計画

① 計画的な会員増強

(ア) 入会相談会、入会説明会の実施方法を見直し、入会し易い方法を検討する。

(イ) 女性用入会案内パンフレットの配布や女性限定入会説明会などを積極的に実施する。

(ウ) 計画的に新聞折り込み、市広報に入会説明会、入会相談会の案内を掲載する。

② 会員の生きがいと社会参加

会員就業・交流事業検討会等によって会員相互の交流を推進していくことが大事と思われる。具体的には、懇談会、サークル活動、日帰り研修旅行などを支援し、就業以外での会員相互の結びつきを強化する。

③ 高齢会員への対応と退会者対策

(ア) 新入会員と同程度の退会者がいる現状を改善するため、退会者抑止対策として、年一回以上何らかのかたちで就業またはセンター行事に参加できるように検討する。

(イ) 高齢会員向けの就業の創出、特別な会員制度の創設などを検討する。

④ 会員研修と能力開発の強化

東京しごと財団や府中市などと連携し、需要の増加が予想される職種の研修会、講習会などを重点的に開催する。

⑤ 就業の開拓や未就業者への積極的な業務紹介等で就業率90%以上を目標とする。

2 事業

事業実績目標
(2022年度)

9億円

(1) 現状と課題

過去5年間の受託件数は12,000件前後、延日人員は190,000名で推移している。

平成28年度事業実績金額は7億9,500万円、平成27年度対比4.7%の増となっています。

今後については、駅前自転車誘導作業、大口管理業務などの縮小も来年度以降見込まれており、不確定な要素もありますが、事業を拡大し、毎年2千万円の増を目標とします。

(2) 実行計画

① 発注者の維持確保

(ア)作業完了後に発注者に満足度調査をするなどアフターフォローして維持確保に努める。

(イ)役員、就業開拓員が連携し、大口発注者を訪問し新たな受注と維持確保に努める。

② 新規事業の拡大

(ア)女性活動検討会を軸に女性向け職種を開拓し、就業の促進を図る。

(イ)高齢の会員に適した職種や働き方を検討して新規事業の拡大に努める。

(ウ)就業開拓員を活用して新規事業拡大を図る。

③ 独自事業の創出

(ア)地域のニーズに応じたサービスとして、今後、介護事業等の分野があるが、そうした新規事業の開拓と独自事業の創出を検討する。

(イ)会員の持つスキルを活用して、カルチャー教室などを開催する。

④ 地域のニーズに応じたサービスの提供

地域ニーズに応えるため、請負になじまないものは労働者派遣事業に切り替えるなど柔軟に対応する。

⑤ 就業機会の拡充と派遣事業の推進

(ア)就業上のトラブルを防止することが、発注者の維持に必要なことであり、会員研修の強化等により会員の資質向上を図る。

(イ)派遣事業については、会員からの情報収集を含め、事業推進の柱として取り組む。

(ウ)就業機会を増やすため、ネット環境を利用して就業情報や就業エントリーできる環境を検討する。

3 組 織

(1) 現状と課題

平成29年には設立40周年を迎え、また、公益法人として6年が経過し、発注者や会員のニーズに的確かつ柔軟に対応できる会員参加型の組織体制強化が必要です。

また、事務所移転により、センター機能も変化することが予想され、柔軟に対応できる組織改善を実施して、職員の資質向上、効果的、効率的な事業運営を目指すことが必要です。

財政的には、国、公共団体の財政状況は依然として厳しい状況にあり、国、都、市の補助金が運営費補助から事業費補助へ転換され、見直しがますます進むと思われています。

(2) 実行計画

① センターの事業推進体制の充実

- (ア) 会員の自主・自立の運営体制をさらに進めるため、研修などを実施する。
- (イ) 理事会等の運営を円滑にするため、会議資料等のペーパーレス化を検討する。
- (ウ) 地域班長の人員不足、高齢化などに対応するため、地域班長のなり手が増えるような環境づくりを検討する。

② センターの認知度の向上

あらゆる機会を利用してセンターの認知度を向上させ、入会者を増加させることにより組織としての安定化を図る。

③ 地域貢献活動の拡充

ボランティア活動参加者の頭打ち固定化など、全体的にボランティア貢献の認識が薄い等の現状があり、ボランティア意識の浸透と実施内容を工夫する。

④ 経営の安定

- (ア) 事業拡大を促進して事務費収入の増加を目指す。
- (イ) 独自事業など自主財源を確保し安定した運営資金の確保について検討する。
- (ウ) 経費の見直し、経費削減を進める。

⑤ 事務局体制

平成28年度以降職員が3年間にわたり定年を迎えることから、事務局体制が大きく変わることになります。新規職員の採用を含めて長期的な人事計画を策定し、事務局体制を整える。

4 安全就業

(1) 現状と課題

安全就業については、安全委員会等で安全対策基本計画・安全対策実施計画・推進計画を策定し、安全就業と事故防止を全会員への周知徹底に努めています。

平成28年度の傷害事故は11件発生、賠償事故は7件発生し、ますます会員の安全就業や交通安全の意識の向上が重要となります。

また、会員の高齢化が進む中、健康維持・増進をサポートする取り組みも大切になります。

賠償事故については、お客様に対しての対応、補償等がセンターの信頼を失うこととなり、防止策を図っていく必要があります。

(2) 実行計画

会員の安全就業と事故防止

- (ア)年2回の安全推進大会を楽しみながら安全意識の啓発、健康維持、増進ができるイベントを開催し、参加者の増加を図る。
- (イ)安全パトロールの充実を図り、実施結果を活用する。
- (ウ)事故発生状況などを分析し、情報を会員に周知する。
- (エ)会員の自己管理を促し、定期的な健康診断の受診を啓発する。
- (オ)草刈機械等の取扱いについて、定期的に講習会を実施する。



5 適正就業

(1) 現状と課題

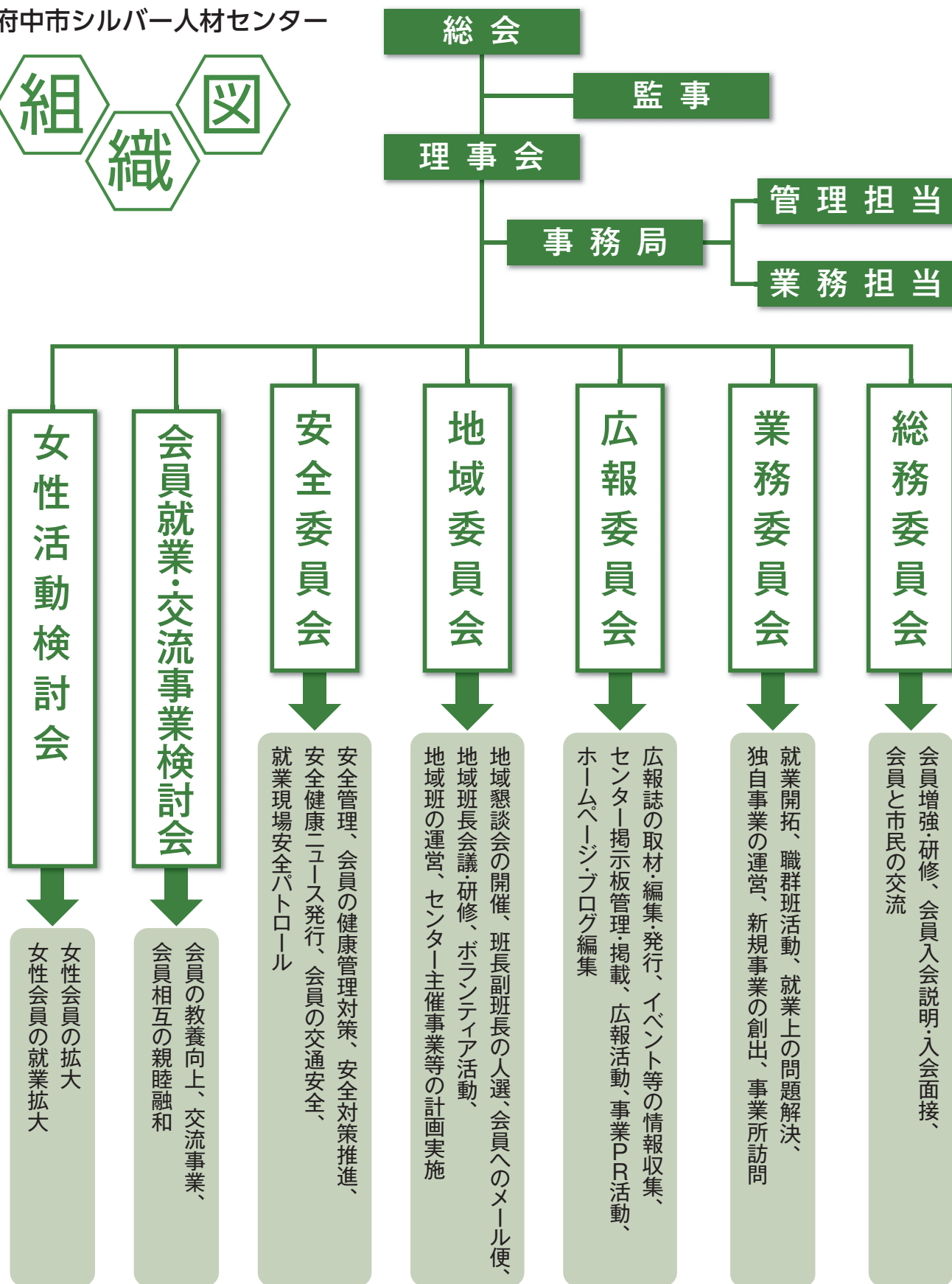
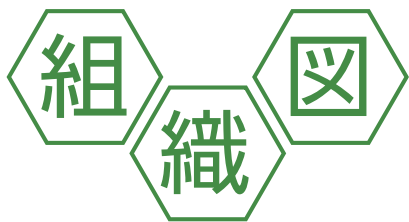
シルバー人材センターでの働き方は「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」により臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く。)またはその他軽易な業務に係る就業(雇用によるものを除く。)と定められています。また、就業形態については、発注者から指揮命令、混在就業があるかなどにより、請負事業か派遣事業かを明確に区別し、実態に合った会員の適正就業を確保していく必要があります。

また、特定の会員に長期的に就業を提供することのないように十分配慮していくことが必要です。

(2) 実行計画

- (ア) 仕事の受注の際、就業内容及び就業現場の確認を行い、適正な就業を図る。
- (イ) 臨時的、短期的、軽易な業務を遵守する。
- (ウ) 継続性のある就業については、ローテーションやワークシェアリング、就業基準などを推進する。
- (エ) 発注者や会員に対して、適正就業の周知徹底を図る。
- (オ) 派遣事業のPRを強化し、さらに推進する。





VI 参考資料

1 府中市の人口の推移

(各年1月1日現在)

		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総人口		251,858	253,288	254,551	256,748	258,000
60 歳以上		64,517	65,340	66,151	66,935	67,655
内訳	60 歳～ 64 歳	15,837	14,873	13,756	13,177	12,820
	65 歳～ 69 歳	13,597	14,018	14,873	15,640	15,959
	70 歳～ 74 歳	11,940	12,614	12,946	12,527	12,190
	75 歳～ 79 歳	10,125	10,094	10,194	10,321	10,673
	80 歳以上	13,018	13,741	14,382	15,270	16,013
総人口に対する 60 歳以上の割合		25.6%	25.8%	26.0%	26.1%	26.2%

2 会員数の推移

(各年4月1日現在)

		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
会員数		1,781	1,701	1,700	1,705	1,732
内訳	60 歳～ 64 歳	120	88	61	53	59
	65 歳～ 69 歳	445	391	375	371	373
	70 歳～ 74 歳	617	636	632	571	559
	75 歳～ 79 歳	422	396	426	483	501
	80 歳以上	177	190	206	227	240
府中市の 60 歳以上に対する会員数の割合		2.8%	2.6%	2.6%	2.5%	2.6%

3 事業実績の推移

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
請負	受託件数(件)	11,962	11,926	12,201	12,579	12,284
	延日人員(人)	198,943	190,039	190,739	188,971	194,257
	契約金額(円)	779,010,474	737,767,998	756,252,958	759,977,341	795,512,589
労働者派遣事業	受託件数(件)	—	—	—	—	2
	延日人員(人)	—	—	—	—	25
	契約金額(円)	—	—	—	—	140,400

4 第3次 長・中期計画検討会

(1) 委員名簿

NO	役職	氏名	住所
1	座長	はしもと まさお 橋本 征男	紅葉丘
2	副座長	しばつじ まさみ 芝辻 昌三	本町
3	委員	ちだ えつこ 智田 悦子	武蔵台
4	委員	くさか ゆうこ 日下 優子	宮西町
5	委員	さいとう まこと 齋藤 誠	栄町
6	委員	ゆきなが えみこ 幸長 恵美子	晴見町
7	委員	まつい ひとし 松井 等	本宿町
8	委員	ましこ えつこ 益子 悦子	四谷
9	委員	いしかわ のりひろ 石川 徳敬	本町
10	委員	はくた まもる 伯田 守	多磨町
11	委員	みぞぐち たけし 溝口 猛	小柳町

(2) 開催状況

平成29年1月11日～9月7日





※写真はイメージです。

第3次中期画書

発行日 2018年(平成30年)3月

発行 公益社団法人 府中市シルバー人材センター

〒183-0056 府中市寿町3-2 市立ふれあい会館2階
(2018年4月移転 〒183-0055 府中市府中町1-30市立ふれあい会館1階)

TEL 042-366-2322 FAX 042-360-6388

URL <http://www.fsc.or.jp> E-mail fsc@fsc.or.jp

FUCHU



SILVER

FUCHU SILVER

The background features a complex, abstract design with overlapping, semi-transparent green and white curved lines and shapes. The lines vary in thickness and curvature, creating a sense of depth and movement. The overall color palette is dominated by various shades of green, from light and airy to deep and saturated, set against a white background.